

佐賀県小・中学校学習状況調査「分析ツール」の活用

教育センターでは、4月に行われた佐賀県小・中学校学習状況調査の結果を分かりやすいグラフにする「分析ツール」を提供しています。ぜひ、このツールを夏休みの校内研修などに活用してください。**今年度は、クロスごとにも出力できるようにしました。**

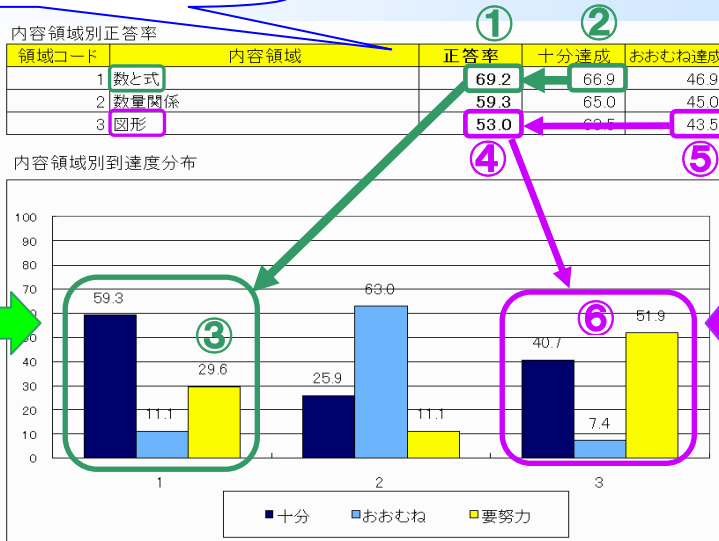
そのグラフの中でも、今回は、自分の学校の傾向や、今後の学力向上に向けての手立てにつながる「内容領域別到達度分布グラフ」と「クロス分析グラフ」の見方を紹介します。

● 内容領域別到達度分布グラフの見方

内容領域別正答率の数値だけを見ると…

緑色の部分の「数と式」の領域において、この学校の正答率①は、**十分達成の値②**を上回っています。

しかし、③で示したグラフをよく見ると、**29.6%**の子どもが「**要努力**」となっています。



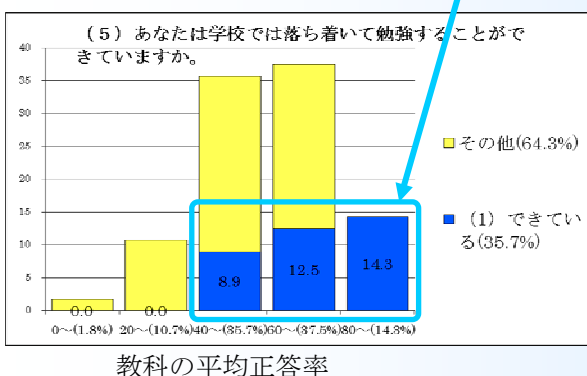
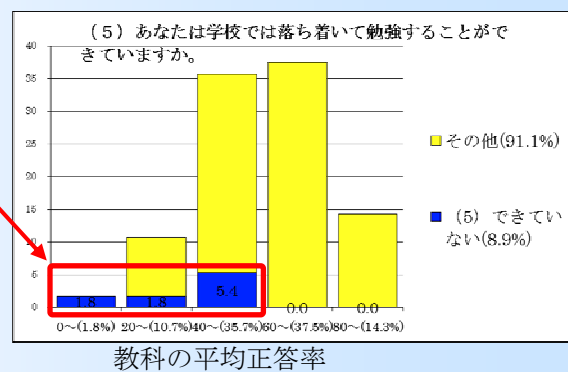
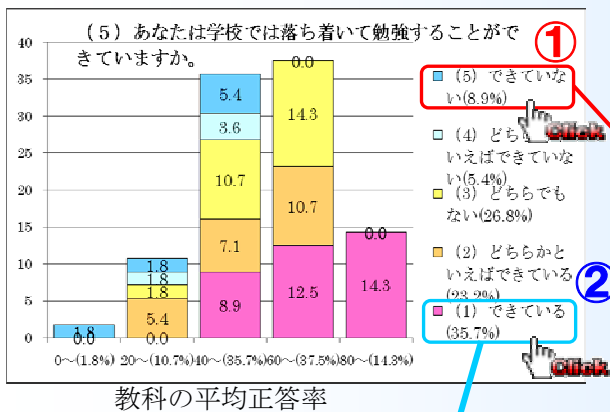
紫色の部分の「図形」領域の正答率④は、数値上は**おおむね達成の値⑤**を上回っています。

しかし、⑥で示したグラフを見ると、この学校では十分達成している子どもと要努力の子ども、**二極化**が見られます。

以上のように、この学校の場合では、数学の「数と式」と「図形」の領域において、到達度の二極化が進んでいるということがうかがえます。このように、分析ツールのグラフを見れば、数値だけでは分からない領域別到達度を読み取ることができ、今後の指導に役立てることができます。

● クロス分析グラフの見方

グラフの凡例部分をクリックすると、該当する児童生徒が度数分布グラフのどこに位置するのかが表示されます。



例えば、「あなたは学校では落ち着いて勉強することができますか」という質問に対して、「できていない」と回答した児童生徒が、ペーパーテストでどこに位置しているかを、視覚的に、瞬時に表示します。凡例の①のところをクリックすると、平均正答率の低い児童生徒が回答しているのがわかります。同様に、②のところをクリックすると、「できている」と回答した児童生徒がペーパーテストでどのあたりに分布しているのかもわかります。

「分析ツール」は佐賀県教職員ポータルサイトにログイン後「諸調査集計・分析システム」からダウンロードできます。